

(様式1)

学校番号 (小・中)

令和7年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(金指小)学校運営協議会長

<本年度の目標>

- ・委員それぞれの人脈を生かしながら、その輪を広げ、より多くの地域の人々が気軽に参加できることを考えていく。
- ・児童も地域の一員であるという意識を高めるために、児童も委員と一緒に行事の企画に参加するなどし、学校、地域みんなで行事を作り上げていく。

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

⇒ ア よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった

(理由)

学校教育目標や学校運営方針について、内容の理解や共有に努めることができた。特に、学校運営の重点である「みんなでつくる楽しい学校」を目指し、前年度以上に学校行事への関わり方について、前向きな議論ができたと感じる。

<評価項目2> 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

⇒ ア よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった

(理由)

特色ある学校づくりを目指し、昨年度までの反省を反映させながら運動会、ポイントウォーク、学習成果発表会などで、児童の主体性を尊重した行事を実現すべく、具体的な連携・協力の在り方について積極的に議論することができた。

<評価項目3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

⇒ ア 充分に行った イ 行った ウ あまり行わなかった エ 行わなかった

(理由)

運営協議会としての情報を個々に発信した。その結果、昨年よりも地域と子供たちのふれあいを推進することができた。しかし、小学生のいない世帯への情報到達が不十分であり、地域住民が情報をどう受け止めているかという反応の確認ができていないことが課題である。

<評価項目4> 今年度の評価を踏まえた来年度の目標

昨年度よりも多くの地域の人々の協力を得られた活動ができたと思われるが、来年度は、もう少し年齢が若い人達を巻き込み、協力者の輪を広げていきたい。また、ポイントウォーク以外の視点からの活動も検討し、児童の主体的な活動を援助していきたい。